

第104号



発行：西郷村企画開発課

印刷所：ワタベ印刷所

西郷村の人口及世帯数
(52. 2. 1 現在)

世帯数	2,704戸(+26)
人口	11,906人(+26)
男	5,909人(+16)
女	5,997人(+10)



第4回村民スキー大会



絶好のスキー日和に恵まれ回転、大回転競技に熱戦する選手。

活発な意見の交歓行わる

西郷村行政懇談会

一月二十四日、午後一時三十分から農民研修センターで、村内各般にわたる指導的立場にある方々のお集りを頂き、村政全般にわたるご意見を賜わり、今後の行政に反映させ、住民の要望に沿った行政運営をはかるため、行政懇談会を開催致しました。

懇談会は村長挨拶、村の概要の説明とつづき、問題を大きく次の四点にしばって、活発な意見の交換が行なわれました。

(1)生活環境について



(2)社会福祉について
(3)産業について
(4)教育について

生活環境については、新しいコミュニティづくりとして積極的にリーダーの育成に当たるとともに、現在年一回の盆おどり大会を学校単位、部落単位に輪を広げ村民が触れ合う機会を多く作り出した方がよいのではないかと意見が出ました。

ゴミ処理・汚水処理については、建設的な意見が多く出ましたが、村の方から工場汚水等については整備してゆく方針であるが、家庭の野菜クズなどは、去年の冷害でも見直されているように有機質として土地に還元してはどうかという要望を致しました。

道路、交通安全に対しては、各道路についての具体的な要望があった中で、公共施設の道標や甲子の遊歩道設置の話も出ました。

住宅対策については、村営住宅をもっと建設してほしいとの声がありました。

社会福祉については、現在原中まで運行しているバ

スを甲子まで延長してほしいとの要望があり、これに対し、村では太陽の国より甲子まで延長するよう陳情中であると説明がありました。又、社会福祉については婦人会でも大いに協力したいとの声がありました。

産業については、まず農業では前にも触れたように畜産公害に関しては地力増進のため、有機質として土地に還元してほしいと村から要望しました。

商工業については、工場側から公害防止に努力しているが経費がかさみ非常に苦しいとの声があり、又村内の工場のつながりが必要ではないかとの話も出ました。

観光については特に甲子の方から遊歩道やプールなどについて話がありました。

教育については、川谷小学校がこれ以上生徒が減ると複式学級になる恐れがあるのでこれの防止に当ってほしいとの声がありました。

他には総合運動場やレクリエーション村の建設の要望などもありました。

回転・大回転に熱戦

第四回村民スキー大会

西郷村教育委員会、西郷スキークラブ共催による村民スキー大会が、十三日午前九時から赤面山スキー場で成年、青年、少年、女子の四組に分れ、合わせて、五三人の選手が参加して行なわれた。

成績は次の通り

〔成年〕▽回転①近藤昌好 30秒5 ②芳賀喜代重 40秒5 ③鈴木久雄 42秒4 ④大回転①芳賀喜代重 34秒5 ②近藤昌好 48秒5 ③鈴木久雄 1分16秒。

〔青年〕▽回転①君島二三男 25秒5 ②菊地良人 26秒3 ③真船秀典 28秒4 ④大回転①穴沢清一 22秒5 ②佐藤公春 23秒5 ③君島二三男 24秒。

〔中学校男子〕▽回転①芝沢淳 24秒2 ②芝沢高 25秒3 ③広田浩一 35秒。

〔小学校男子〕▽回転①八島誠 34秒2 ②真船義高 43秒8 ③真船浩一 44秒。

〔女子〕▽回転①星千恵子 34秒2 ②河島かおり 40秒3 ③穂積直子 41秒。



村のすがた

(福島県のすがたより)

○世帯数	2,542世帯
○人口	11,664人
○選挙人名簿登録者数	8,105人
○就業人口	...
(第1次産業)	1,985人
(第2次産業)	1,830人
(第3次産業)	1,735人
○工業 工場数	45
従業者数	1,751人
出荷額(年)	1,698千万円
○商業 商店数	125
従業者数	338人
販売額(年)	2,672千万円
○1人当り分配所得	769千円
○生徒数	1,437人

以上の資料は昭和49・50・51年の各調査より出されています。

予防接種は

なぜ必要か

病気はかかってからなおすより、かからないうちに予防すべきものです。治療の方法がたいへん進歩してきたとはいえ、現在でもウイルスに対しては特効薬はありませんし、流行がおこったら大変だという伝染病もいくつか残っています。

予防接種はこうした病気を防ぐためにもぜひ必要なのです。適当な時期に安心して接種をうけられるよう定期接種、臨時接種制度が定められておりますので、体の調子の良いときは該当者は必ず接種を受けておくようにしましょう。

◇定期接種：百日咳、ジフテリア、ポリオ、種痘。

◇臨時接種：BCG、インフルエンザ、日本脳炎、※五十二年度より、はしか、風疹が定期接種になる予定です。

〔役場住民課〕

西郷村の

ダイヤル化が

三月に全部完了

皆様方のご協力によりまして西郷村熊倉地区、およ

真船『ひまわり会』を

結成して

老人クラブに入るには早
いし、婦人会は嫁さんにゆ
づつたし。さて何かしなけ
ればと思ひ「若いとしより」
のお友達が集まって話し合
いをしていううちに、何か
よい知恵はないものかと昨
年の七月、真船公民館にお
いて社会教育主事近藤昌好
先生のお話を聞くことに
なりました。

その結果「地域社会のた
めになるため」「よりよき
姑となるために」を目標に
して皆んなで会を作つて話
し合いをし行動しようと言
うことになりました。太陽
の様に明るく、あたたかく
実がたくさんついている「
ひまわりの花のごとくあり
たいと思ひ」「ひまわり会」
としました。



国民健康保険が12月中に支払った医療費等の状況

区 分	件 数	支払額	支払額の対前 月増減 (円)	
医 療 費	入 院	99	9,256,281	＋ 617,197
	入院外	2,238	9,269,087	－ 176,161
	歯 科	251	890,617	－ 98,441
	計	2,588	19,415,985	＋ 342,595
高額療養費	63	1,851,888	＋ 902,962	
助 産 費	6	240,000	＋ 80,000	
育児手当金	6	30,000	＋ 10,000	
葬 祭 費	9	45,000	＋ 5,000	
合 計	2,672	21,582,873	＋ 1,340,557	12,041,150円

12月中に納入
された国保税

国民健康保険が1月中に支払った医療費等の状況

区 分	件 数	支払額(円)	支払額の対前 月増減 (円)	
医 療 費	入 院	106	10,156,523	＋ 900,242
	入院外	2,244	10,338,826	＋ 1,069,739
	歯 科	237	848,400	－ 42,217
	計	2,587	21,343,749	＋ 1,927,764
高額療養費	4	1,048,326	－ 803,562	
助 産 費	11	440,000	＋ 200,000	
育児手当金	10	50,000	＋ 20,000	
葬 祭 費	7	35,000	－ 10,000	
合 計	2,619	22,917,075	＋ 1,334,202	9,461,270円

1月中に納入
された国保税



毎月一回集まって、なん
のくつたくもなく話し合い
楽しくひとときを過ごす
共に、教養を高めることに
勉めています。旅行や、行
事のためささやかながら貯
金なども始めました。

去る一月二十三日には新
甲子楽山荘で新年会をかね
て総会を開き新役員を決め
新年度の行事を次のように

申し合せました。

(1)物を大切にし、古い物を
生かして使い、新しい
物を使いこなす家庭にし
よう。

(2)真船地内の公民館に花を
いっぱい植えよう。

(3)村内の各所、旧跡、施設
めぐりをして知識を高め
よう。

この写真は一月二十三日
新甲子楽山荘で写した会員
の方々の写真です。会員は二
十一名ですが、この時は四
名の方は都合が悪く参加出
来なかった事が残念です。

胸に付けた記彰は、秋庭先
に落ちた椿の木の「から」
を利用して作った手造りの
「ひまわり会」の会員彰で
す。

◆会員名簿◆

氏 名	氏 名
真船 トシ	真船 ミエ
真船 セツ	真船 サキ
真船 コト	加須我 ミチ
佐藤 信	金田 トキ
竹井 リエ	平賀 ヨシ
真船 久代	真船マサヨ
力田 イシ	加藤フサ子
常松ヨシイ	菊地トミ子
秋山ナルヨ	秋山 ウメ
金田 和子	菊地スミ子
川名ヤス子	以上

①加入者番号
西郷地区と中島村の加入
者番号は全部変わります
但し、西郷地集と中島地
集の電話番号は変わりま
せん。

②電話番号が変わります
二、電話番号が変わります
回中島局、五十二年三月二
十三日午後二時

③市外局番
西郷村 〇二四八二
中島村 〇二四八五二
三、その他
ダイヤル式電話への一斉
切替えをする三月九日、
三月二十三日の午後二時
前後十分間程度は西郷村
および、中島村への電話
をなるべくしないようお
願います。
切替後は新電話番号をお
調べになってからおかけ
ください。

白河電報電話局

文化賊ぶり

折口原新田村の開發 ④

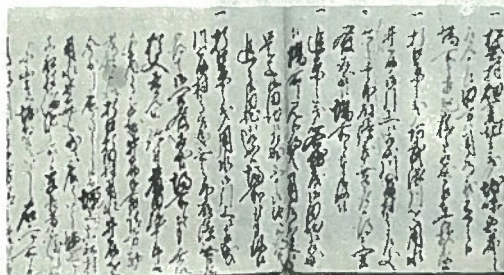
〓 文久堀と折口原新田村 〓

(6)新聞目論見報告書

調査地	可・不可
折口原	可
米村	可
追原	不可
小田倉	不可
白河	不可
立石山	不可
十文字村	不可
旗宿村	可
大谷地村	可
上小屋村	可
泉崎村	不可
十文字村	不可
松倉村	不可
矢吹宿	不可
飯土用村	可
白坂村	不可

(7)開発に着手す

文久二年、前年の目論見・計画書により開発が始められた。藩では開こん人夫を募集した。伴右エ門他三名の見立人もこの募集に協力したが、その人数を明確



にすることはできない。

移住した人々は大抵が次男、三男の水呑まがいの百姓の小せがれであつたろう。

その計画は折口新田真船の用水取入口を広げ堰上げし、真船村の溜池から長者窪に堀ぬきし、この二ヶ所より用水を取るといふものであつた。

計画の通り工事は進められた。役所でもこの人夫たちに開作に対する夫食、他を貸し出した。

〇堀・文久堀に関する計画書

一、堀口 八十六人
一、折口新田 三百二十拾間
一、折口の内 五十人
一、折口新田 二百四拾間
一、村の内 三百人
一、堀割の分 四百八拾九間
四百八拾九人
以上総人数 九百二拾五人

文久堀は完成した。白河藩では開こんの準備作業に従事したものがそのまま新開村に留まり新田の経営にあたることを望んだので十六戸の百姓が新百姓となつた。

在地の世話役として天神町藤田孫右エ門、真船村庄屋和知作之助が選ばれたが孫右エ門の失退により、三作、孫十郎のそれぞれの子がこれにあつた。

(つづく)

旅と道標

松尾芭蕉は『奥の細道』

の中で、人生は漂泊の旅であると云っている。旅に明け暮れた芭蕉らしい人生感である。旅とはまさに人生に於ける最大の冒険であつた。家内の者あるいは友と別れの盃を交わし、出発した異郷への旅の難儀はいかばかりであつたろうか。旅とは言うまでもなく辺境へのあこがれであり、胸ふくらむ思いの実現であつたのだ。望郷の思いは旅人の決意をくじき、そして涙を誘つたことであろう。

このような旅人たちに光明を与えたのが村々の辻に残る道標や茶屋そして宿場である。文化財保護委員会の調査によれば、現在九個余の道標が村内に確認されている。大部分が馬頭観世音であるが、その他山岳信仰に關連する石造文化財にも道標となつてゐるものもある。村人たちが自分たちの幸福を祈ると共に旅人たちの無事をも願ひ建立したのである。

この道標は同時に中世から近世に到る古道をも示している。近代から現代の大規模な道路改修事業によつて、当時の道あるいは旅の姿を知るべくもないが、

今もつて交通機関未発達時代の交通を示唆している。真名子新田村や黒川村の開発、そして折口宿の開村など、当村にも道にまつわる伝承、峠路における哀話の伝承は多い。

〇西郷村の道標

所在地	碑名	碑文
虫並	馬頭観世音	左 北郷 右 白川 北 羽太 東 白河
追原	〃	左 山道 右 山道 左 山道 右 山道
折口	湯泉八幡	左 山道 右 山道 左 山道 右 山道
折口	王夜供養塔	左 山道 右 山道 左 山道 右 山道
上新田	馬頭観世音	左 山道 右 山道 左 山道 右 山道
原中	白湯山大権現 日光山大権現	左 山道 右 山道 左 山道 右 山道
西原	高湯山大権現	左 山道 右 山道 左 山道 右 山道

旅の記録に天保十三年と明治初年の「伊勢道中記」文久三年の宮下伴右エ門（折口原新田村の開発目論見責任者）の道中記などが残るが、ここでは省き後日に触れることにする。

旅は現在の私たちにとても夢である。そして未知である。苦しく長い道のりもあれば、夢多き山々、ロマンあふれる峠もあるのかもしれない。芭蕉が吐露するように、私たちも日々、漂泊の旅も続けているのかもしれない。

(終)

川柳・俳句

課題詠「料理」 文子選

人 万感の想い合格祝う膳 六郎

地 新婚の夫は何でも食べ てくれ 京子

天 花一輪かざって盛りつけ出来上り キヨ

課題詠「約束」 秀石選

人 指切りの小指に温い血 が通い 昭子

地 指切りの澄んだ瞳を裏 切れず 六郎

天 破る気の約束をして肚 を決め 三郎

豆腐屋の豆腐深みに寒の 水 清二

寒卵賜ぶる友あり生きる べし あや

寒の陽や雲と雲とにはさ まれて 周平

つらら越し星のあかりや 仔牛牝 八郎

家造り寒に間に会はざり にけり 草央

寒水を飲んで払いぬ道の 雪 東仙

大寒の天哭くや一樹ゆる ぎなく 桃

雪にくれ雪に明けたり去 年今年 章郵

郷土史コーナー

西郷村史

第16回

●伝説の時代

笹原の伝説は私たちの知る限りで最も美しい伝説の一つである。

伝説即ち現実とは速断しがたいが、村々の開発状況を暗示しているのではあるまいか。

●中世の西郷村

一笹原郷：長坂・柏野・羽太

一田倉

笹原庄一

隈戸郷：米・熊倉・鶴生・真船・小

いつの時代にこの二つの郷に西郷が分割されたかは判明しないが、西郷は笹原庄に属し、羽太街道の村々は笹原郷に、以外の村々は隈戸郷の村々であった。これは、西郷が二つの支配に分割されていたことを示している。

西郷の2つの『郷』



また『結城上野入道々忠知行所領書』(道忠は宗広)に米村郷とあるが、郷と称されているのは六ヶ所だけであり、大範圍を示しているのかもしれない。この文書には他に熊倉の名が見られる。(つづく)

アカシヤに似た喬木が治療室の窓際に二、三本立っている。裸になった枝振りが緑色の空と室内の医療器具などに調和し、それらが単色の美しい絵を構成して枯れゆく外景を引き立て、迫る華北の冬を告げはじめた。医務課に来る人々と入室患者のため、私たちは屋外の土も踏めない状態になり、毎日、注射器を握ったリビンセットをつまんだりして忙しく働いていた。

十一月初めごろであったか三回目かの帰国が行われ乗船する人たちは貨物車を貨車で立ち塘沽(タンクー)へ向かった様子で、准尉の話では、アメリカ軍のLST(米軍が第二次世界大戦中、兵員・戦車・車輛陸揚げ用に量産した船の一種『現代用語の基礎知識』が帰国(引揚げ、復員)専用に使われている、とのことであり一般の日本人引揚げが優先し、軍人や兵隊は、そこに割り込んだり後回しにされたりして乗船するらしい推測であった。

胸のあたりにつかえていたような故国への慕情が和らぎ、身軽さを覚えたのは私だけではない。医務課の者は言い合わせたように明るく、救護活動も一層親密さを増していった。

婦国者名簿に軍属のKさんとIさんが載ったことを准尉が突然伝えた。

回想録
陸軍衛生兵の思い出 (17)

佐藤兵治

「上皿天秤とにらめっこしながら、乳鉢と乳棒で粉摺りをするかあ」と笑いながら仕事にかかった。この人も、また、変わり者で、専門学校を卒えた才能の保有者であっても、そのことについては爪の垢ほども匂わせない一等兵であり、奥ゆかしい人柄とおとした。

税務署だより

☆所得税の申告と納税は
三月十五日まで：

昭和五十一年分の所得税の確定申告と納税は三月十五日までです。もう申告はお済みでしょうか。

税金の計算方法や、申告書の書き方などについて、わからないことがありましたらお気軽に税務署に相談してください。

なお、確定申告期間中は税務署、市町村役場のほかに税理士会か商工会議所、商工会などでも無料相談所を開設していますので御利用ください。

申告をしなければならぬ方が申告をしなかったり、誤りのある申告をしますと不足の税金を納めるだけでなく、加算税など余分な税金を納めなければなりませんので、申告するときによく確かめて正しい申告をしてください。

また、振替納税を利用している方は、納付書に必要な事項を記入し、申告書といっしょに提出してください。

☆税に関して不服のあるときは：
税務署の更正や決定、差

押えなどの処分に疑問や不服があるときは、まず税務署でその理由を聞いてみる事が大切です。それでもなお不服のあるときは、その処分の通知を受けた日の翌日から一カ月以内に国税不服審判所長に対し、「審査請求」をすることが出来ます。

「審査請求」に対する国税不服審判所長の裁判になお不服のあるときは、裁判所に訴訟を起こすことができます。

「異議申立て」「審査請求」の手続きなどについては、遠慮なく最寄りの税務署や国税不服審判所へお尋ねください。

国税不服審判所は、国税について納税者の権利救済のために設けられた機関です。課税や徴収に当たる税務署や国税局から分離した第三者的立場で、審理、裁決を行っております。

なお、所在地等は、次のとおり。

▽仙台国税不服審判所
仙台市本町三丁目二二
三、電話〇二二二(四)七五
六一

※納税相談日程
西郷村は三月八日～十日
(会場は白河税務署)

火災は人災 防ぐはあなた 春の火災運動

この運動は毎年二月二十八日から二週間、消防庁の主催により全国的に展開されます。昨年十月三十一日の山形県酒田市の大火もあり、火事の恐ろしさは今さらいうまでもありません。空気が乾燥する季節、日本海側の秋や太平洋側の冬は往々規模の大きい火災が起きております。二月末からこの運動を行うのも、火を使い馴れ、軽視しがちな時期であるため、気を引き締めるねらいもあるわけです。

火事はほんのちよつとした不注意や不始末によって起こる場合が多く、その炎はアツクという間に家屋を家財を、生命を包み込み灰にしてしまいこれらの国家的損失は計り知れません。また、常に自分のいる位置からどう避難するか、デパートや旅館などでは特に留意したいものです。

ワンマンバス

運転のお知らせ

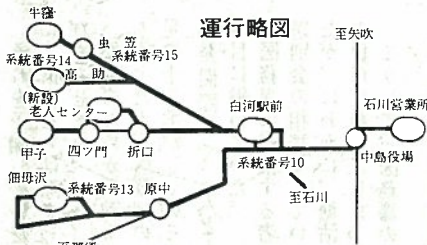
毎度ご利用いただきありがとうございます。

3月1日から①白河―虫笠(牛窪)線 ②白河―高助線 ③追原線由甲子線 ④白河―佃母沢線 ⑤白河―滑津―石川線がワンマンバスとなります。

新線など主な変更について
▽虫笠線：終点を牛窪まで延長いたします。
▽甲子線：追原線由を新設いたします。

老人福祉センター発
甲子行 白河行
9時37分 9時12分
11時37分 11時12分
16時57分 15時12分

◎変更時刻
16時50分太陽の国行(上一の又)を16時45分太陽の国行(上一の又)、太陽の国行(上一の又) 17時30分白河行を太陽の国(上一の又) 17時20分に変更となります。



福島交通 白河営業所 ☎02482-3-3151

一月の行事報告

- 4 ④御用始め
- 5 ⑤新年祝賀会、町村会定例会
- 6 ⑥出初式、選管委員会。
- 7 ⑦簡易水道入札、土地改良区入札
- 8 ⑧交通安全対策状況視察のため来村(茨城県)
- 10 ⑩白河地方振興協議会幹事会
- 11 ⑪全国水道促進大会、全国町村長大会、西郷白河都市計画協議会。
- 12 ⑫全国山村振興連盟臨時総会、簡水協大会、国保中央大会。
- 13 ⑬奥地開発道路協議会全国少年自然の家整備促進基成会総会
- 15 ⑮三道新年会、おどり教室、民謡教室発表会
- 26 ⑯婦人リリーダ研修会
- 27 ⑰農業委員会、昭和五十二年西白河地方交通安全活動推進対策協議会
- 28 ⑱財政問題連絡協議会(町村会) 議会委員長会議
- 29 ⑳西白河青年連絡協議会
- 30 ㉑村民スキー教室
- 31 ㉒議会
- 17 ㉓岩瀬農校拡充基成同盟会総会
- 19 ㉕白河地方農協指定金融機関連絡協議会
- 20 ㉖農事組合長会議、県南廃棄物センター創立総会。
- 22 ㉘初金(改善センター)
- 24 ㉙行政懇談会、市町村収入役会議、前橋営林局長歓迎懇談会
- 25 ㉚臨時市町村連絡協議会 県南部特定郵便局新年会

遺族援護及び恩給業務巡回 相談会開催のお知らせ

戦傷病者、戦没者遺族等援護法及び恩給法については、内容充実のためなん回かの改正が行なわれてきましたが、その反面内容が複雑化し、容易に理解出来ない点もあり、それに伴う救済もれ、時効完成による失権等を防止するため相談会が開催されます。

3月16日 白河合同庁舎(3階)
午前9時～午後4時